

地域連携公開セミナーのご紹介

地域連携公開セミナーとは…

県立大学では、教員の研究成果発表や外部講師による講演などを「地域連携公開セミナー」として、地域の方々

に無料で公開しています。また、参加者の要望によっては、テーマ別研究会や共同研究等にも繋がります。

「地域における統合サプライチェーン・ロジスティクス」の取組について 3月5日にセミナーを開催

富山は「ものづくり」県ですが、東名阪の大消費地から離れています。消費地に近い製造業が優位であり、最近の少量多品種生産の中、物流のリードタイムと輸送費用の削減を求める傾向にあります。

製造業においては、材料の調達、生産、在庫、出荷、配送という一連の流れをサプライチェーン・ロジスティクス

今回、地域公開セミナーを通じて産学連携で富山県立大学から地域への啓発活動として、単なる物流業務から脱し、マーケット・インの視点に立つ統合ロジスティクス戦略について、共に学べる場を提供するためセミナーを以下の様に開催しました。

1.開会にあたって

中村哲夫氏
前神戸学院大学大学院教授

2.基調講演

①「日立物流が考える3PL」

坂本泰典氏
(株)日立物流中部営業本部執行役本部長

②「ものづくり革新

～SCMプロセス改善と
当社における社内改善活動の事例～

滝沢健氏
富士通(株)サプライチェーンマネジメント本部
BPR推進部統括部長

③「北陸ロジスティクス研究会の構想について」

藤田衛治氏
ST物流サービス(株)顧問
(前ST物流サービス(株)取締役社長)

3.検討メンバーの紹介

4.質疑応答

5.アンケート調査、名刺交換会

という視点で注目する必要があります。また、輸送業では県内のトラックや運転手が少なくなる一方、帰り便も含めて積載率の向上が求められています。

企業においては、マーケット・インの視点に立つ統合ロジスティクス戦略が必要になります。



セミナーの様子



検討メンバー：(右から)

県立大学情報システム工学科 西田准教授、
機械システム工学科 森教授、
教養教育 平野准教授、山田コーディネーター

今後の取り組みについて

今後、公開セミナーの発展として、参加者の意見を参考に、実践的に共同利用する「北陸ロジスティクス」に取り組む企業を募り、研究を進める予定です。

企業のトップからの意見として「テーマ別研究会」を協会員メンバーで立ち上げてほしい、一般公開でのサプライチェーン・ロジスティクスの勉強会を行ってほしい、MOT(技術経

営)の授業に取込んでどうかなど、今後の県立大学工学部の一翼になるようにという意見が出ています。現在、情報システム工学科西田准教授、機械システム工学科森教授、教養教育平野准教授とともに検討を進めています。セミナーの詳しい内容等につきましては、下記までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先：富山県立大学地域連携センター コーディネーター 山田恵宣 TEL.0766-56-0604/FAX.0766-56-0391